

「情報処理学会論文誌：数理モデル化と応用」の 編集にあたって

伊 藤 実^{†1}

今年度 3 回目の TOM の発刊です。今号に掲載の 6 編の論文はすべて 2010 年 9 月開催の MPS80 (北大) からのもので、そのうち 5 編はオリジナル論文、1 編は事例紹介論文です。来年度も 3 回の発刊を予定しており、4 カ月ごとの定期刊行を目標に掲載までの期間をできる限り短くするよう努力したいと思っていますので、TOM への積極的な論文投稿をお願いします。

最近、TOM への論文投稿の申し込み時に、投稿論文の査読者を推薦できる人を 3 名程度著者に記載してもらうようにしました。ただし、著者と利害関係にある人、および、著者と同じ組織に所属する人以外から指名してもらいます。これは、編集委員が査読者を選定する基準にならったものです。趣旨としては、TOM に投稿される論文が扱っている分野が非常に多岐にわたっており、専門分野の編集委員が必ずしもいるとは限らず、適切な査読者を見つけるのが困難な場合があります。その際、記載された推薦者（あるいは、その近辺の人）に照会をかけることが可能になります。また、著者の立場から見て、投稿論文の価値を適切に判断でき、また、より良くするためのコメントが得られる査読者が選ばれる可能性が高くなるというメリットがあります。したがって、論文投稿の申し込みの際に適切な推薦者を記載するよう、ご協力をお願いします。

TOM29 の採録論文数/投稿論文数は 6/9 で、採択率は 67%となります。今号の採録論文 6 編の担当編集委員は、北栄輔、趙亮、野中秀俊、古瀬慶博、古谷博史、吉田稔となっています。

今号では 6 編の論文しか掲載されていませんが、コンピュータサイエンスの境界領域を含む非常に広範囲なものになっています。そのため広い分野に対応できるように多くの編集委員

を必要としています。これまで慢性的に編集委員が不足している状態です。TOM では編集委員を常時募集していますので、自薦・他薦を問わず興味のある方は伊藤 (ito@is.naist.jp) までご一報ください。

本論文誌の配布はオンライン版のみとなっています。なお、論文誌の定期購読制度もありますので、ぜひ、こちらをご利用ください。また、研究会開催記録、研究会登録案内、投稿案内などに関する最新の情報はすべて WWW ページ上に掲載しております。すべての情報は研究会ウェブページ (<http://www.ipsj.or.jp/sig/mps/>) よりたどることができますので、MPS 研究会および論文誌 TOM に関しては、そちらをご参照くださいますよう、お願い申し上げます。

^{†1} 情報処理学会論文誌「数理モデル化と応用」編集委員長
奈良先端科学技術大学院大学